



新入生の皆さんへ

学長 赤路 健一

京都薬科大学に入学された皆さんならびに大学院に入学された皆さん、ご入学誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。これから皆さんが過ごされる学部での6年間あるいは大学院での4年間で皆さんの人生にとってかけがえのない素晴らしい時期になることを確信しています。

2020年が始まってすぐ日本で最初の新型コロナウイルス感染者が確認されて以来何回かのパンデミックを経て、ようやく感染が落ち着き大学キャンパス内での講義・実習・課外活動等を対面で行えるようになりました。大きなパンデミックは見られなくなりましたが、インフルエンザなどを含めた様々な感染症の再拡大の懸念はまだ残っています。このような経験を経て、日本の医療体制における遠隔医療やデジタル化が急速に進んでいます。薬剤師の果たすべき役割にも大きな変化が起こりつつあります。薬剤師は病気の治療と予防に向けて病院や薬局で薬の調合を

行うだけではなく、その薬の効果と限界をきちんと患者さんに理解していただくという重要な使命を担っています。さらに、処方薬の服用管理や症状・副作用モニターまで行う必要があります。一方で、患者さんに直接関わらなくとも、新しい薬のアイデアやシーズを探り治療薬に結びつけることも薬剤師の重要な任務の一つです。また、このような新しい薬の有効性を臨床的かつ学術的に検証することも薬剤師の重要な使命の一つです。

京都薬科大学における6年間の学部での学びは、このような医療界の変化や薬剤師の多様な使命にも素早く対応できる薬剤師の基礎を作るためのものです。すでに分かっていることを整理し理解すること、国家試験に合格し薬剤師として社会へ貢献するための実践、などは大学で十分習得できます。しかし、薬や医療の進歩は日進月歩で、その学術的知見は日々更新され書き換えられています。このような

CONTENTS

■ 特集

薬用植物園開園100周年を迎えて…………… 4

■ ご挨拶

新入生の皆さんへ 学長 赤路 健一…………… 1
昇任のご挨拶…………… 2

■ イベント

2024年度合同多職種連携教育(IPE)研修会…………… 10
白衣授与式…………… 13

■ 報告

2025年度大学院薬学研究科
薬学専攻博士課程(冬季募集)の入学選考結果…………… 9
受賞・掲載…………… 19
京都薬科大学奨学金寄附金芳名録…………… 20

■ コラム

事務局お仕事紹介…………… 9
私の薦める、私の一冊…………… 12
卒業生からのメッセージ…………… 14
十人十色…………… 15
学生相談室だより…………… 16

■ お知らせ

新校舎の名称を募集します!…………… 3
人事…………… 3
2025年度学費等の納入について…………… 3
奨学金について…………… 6
生涯教育センターからのお知らせ…………… 11
京薬会だより…………… 13
Library News…………… 14
クラブ・サークル紹介…………… 17

学術的知見の更新にタイムリーに対応できる基礎力をつけることも本学での学びの重要な目的です。京都薬科大学での学びは、社会で認められる薬剤師になるために必要かつ十分な能力を身につけるとともに、卒業後も自己研鑽によって新たな学術的知見を自ら学び取っていける能力をつけるために十分な内容です。さらに、学部で得られた知識と経験を学術的に昇華させ、今まで知られていなかった事象について深く研究を進め広く世界に通用する知見とすることができる能力を育成するのが大学院での学びです。

皆さんが大学あるいは大学院で向き合う課題には、その解決に必要な基礎的知見が十分に得られていない場合が多くあります。様々な解釈が可能で、一つの正解に間違いなくたどり着けるわけではないのです。さらに、21世紀における科学技術の飛躍的な進歩にもかかわらず、根治法がない疾患や感染症はまだ多く残されています。様々な種類のがん疾患をはじめとして、アルツハイマー病をはじめとする脳疾患や神経疾患もいまだ治療法が確立されていません。現在の科学知識では疾患解明に至らず、正しい治療を行えない病気がまだ残されていると言わざるを得ないのが医療界の現状です。かつて、細菌が原因であるとされたウイルス起源の感染症がつい最近までその原因が解明されずに残っていたので

す。電子顕微鏡の開発でウイルスが初めて可視化され、ウイルスの存在が広く認識されたのです。

一方で、大学時代は自己の内面に向き合う最適な時期でもあります。勉学はもちろんですが、クラブ活動・ボランティア活動・アルバイト等々いろんな活動にチャレンジしてみてください。海外を自分自身で経験することや、今まで縁のなかったジャンルの読書にトライすることで新たな創造力を広げてください。大学時代は、自らの持つ大いなる可能性に気付く時期でもあるのです。また、大学院で研究を続け学位を取得した皆さんは、ぜひ海外の研究室を経験し研究に対する考え方のお国柄を感じてください。これまでの研究活動では得られなかった新たな気付きが得られるはずです。

学部の皆さんが卒業する6年後のデジタル化時代を予測することは不可能ですが、新しい時代に即した新しいスキルと熱いハートをぜひ本学で培ってください。同時に、これからの数年間でしかできない新しい挑戦にトライしてください。こうした大学での体験が、皆さんが新時代を担う次世代の薬剤師として活躍される基盤となるのです。皆さんの京都薬科大学での大学生活に大いに期待しています。

あらためて、ご入学おめでとうございます。

昇任のご挨拶



創薬科学系
生薬学分野

なかむら せいこう
教授 中村 誠宏

2025年1月1日付で、創薬科学系・生薬学分野の教授を拝命いたしました。私は1998年に本学を卒業後、太田俊作教授（現 本学名誉教授）、山下正行先生（現 本学名誉教授）、川崎郁勇先生（現 武庫川女子大学薬学部教授）のご指導のもと有機合成化学に関する研究に従事し、2003年に博士（薬学）の学位を取得しました。その後、約2年間米国ノースカロライナ大学でKuo-Hsiung Lee 教授のご指導のもと博士研

究員として研究を行う機会に恵まれました。2005年に本学生薬学分野の助手として着任し、2013年からは准教授として、吉川雅之教授（現 本学名誉教授）、松田久司教授（現 本学名誉教授）のご指導・ご薫陶を賜り、薬用植物を素材とした生体機能性成分の探索研究を行ってまいりました。

着任後は、これまでの植物成分探索研究にとらわれず、植物酵素を利用した天然型・擬天然型化合物の合成研究など新たな生薬学・天然物化学研究を進めたいと考えております。教育・研究を通して、本学の更なる発展に貢献できるよう一意専心努力する所存でございます。ご指導・ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い致します。

新校舎の名称を募集します！

本学は教育・研究環境の更なる充実を目的として、躬行館（図書館棟）北側に地上4階建ての新校舎を整備することが決定し、2024年11月から建築工事がスタートしました。新校舎建築工事の工期は16カ月を予定しており、2026年2月竣工予定、2026年度前期から学生の教育・研究活動の場として供用が開始される予定です。

今回、新校舎の建設にあたり新校舎の名称を募集します。ぜひ多くの皆さまのご応募をお待ちしております。

応募資格：本学の在学生・卒業生、教職員（正規・非正規含む）

※詳細は2025年4月7日（月）に本学公式Webサイトで公開予定です。



昇任

創薬科学系生薬学分野 教授 中村 誠宏
(2025.1.1付)
(任期：2025.1.1～2034.12.31)

契約期間更新

事務局施設課 契約専門職員 山下 登
(契約期間2025.1.1～2025.12.31)

再任用

生命薬科学系衛生化学分野 准教授 高山健太郎
病態薬科学系
病態生化学分野 准教授 石原 慶一
病態薬科学系
臨床腫瘍学分野 准教授 中田 晋
(以上任期：2025.1.1～2029.12.31)



2025年度学費等の納入について

会計課

学費等の納入については、口座振替を原則としています。口座振替の申込をされている方は、振替日の前日までに指定の口座に授業料等相当額を入金しておいてください。なお、2023年度以前に入学され、口座振替の申込をされていない方には、納付書を送付します。

●口座振替

	前期	後期
口座振替日	4月27日	10月27日
再振替日	5月23日	11月23日

- ・振替日が金融機関の休業日（土日・祝日）の場合は、翌営業日となります。
- ・振替にかかる手数料は本学が負担します。
- ・再振替日は、前月の振替日に残高不足等により口座振替ができなかった場合に振替します。
- ・振替通知は、口座振替の申込時にご登録いただいたメールアドレスに振替1週間前に通知します。

■経済的な事情により、期日までに納入ができない場合は、学生相談員(3年次後期以降は分野主任)に相談し、事務局学生課にて速やかに学費延納手続を行ってください。

■所定の期限までに納入がない場合は、講義・実習等の受講及び各種証明書の発行が停止され、定期試験等の受験資格を失うほか、進級・卒業にも影響し、場合によっては退学処分となりますので、十分注意してください。

薬用植物園開園100周年を迎えて

本学薬用植物園は、2025年6月に開園100周年を迎えます。今から100年前、本学の前身である京都薬学専門学校の薬草園（薬用植物園）が山科区（当時は宇治郡山科村）御陵の地で開園しました。薬用植物園は、現在の本校地周辺で複数回の移設を経た後、1968年に現在地である京都市伏見区日野林に全面移転しました（写真1）。2011年には本学グラウンド南側に薬用植物園御陵園（写真2）が新たに整備され、現在に至ります。

今日まで、薬用植物園の設立、再興、維持にご尽力された教職員や学生有志、学外からいただいた多大なるご協力に感謝し、先輩達が収集されてきた植物や標本類、築いてこられた知識と技術を次の世代につないでいきます。

薬用植物園長 中村 誠宏

Feature article.

■ 薬用植物園の概要

伏見区日野林にある薬用植物園は、山科盆地の東側に連なる山々の一角に位置し、約13,000㎡の敷地は阪神甲子園球場のグラウンドとほぼ同じ広さで、全国でも有数の規模を誇ります。見本園、樹木園、温室、試験圃場、講義室・標本室を備えた管理棟があり、日本薬局方収載生薬の基原植物を中心に有用植物を幅広く栽培しています。植栽植物については、当園ホームページやInstagramで紹介していますのでご覧ください。

2011年に開園した薬用植物園御陵園は、本学グラウンド南側に位置し、約2,700㎡の敷地には、見本園、池、温室といった植物園エリアに加え、庭園エリアには源義経が座ったと伝わる「義経の腰掛石」があります。大学から近い立地を活かし、学生が日々の生活の中で気軽に訪れて植物観察できるように整備しています。



薬用植物園 見本園（写真1）



薬用植物園御陵園（写真2）

■ 実習・見学

1年次早期体験学習や基礎演習科目の一環としての見学、3年次天然医薬品学実習（カリキュラム改訂に伴い、2024年度からは1年次基礎科学実習）において観察やスケッチ実習を行っています。実物だからこそ学ぶことのできる香りや質感、屋外実習で感じる季節感などを通して薬用植物についての理解が深まることを期待しています。薬用植物園、御陵園ともに一般公開していませんが、漢方薬生薬認定薬剤師研修（薬用植物園実習）や、団体を対象とした見学会（要申し込み）を開催しているほか、御陵園はオープンキャンパスで見学を実施しています。

■ 研究活動

総合薬学研究（3年次後期～）では、10名（2025年4月現在）の学生が所属して卒業論文研究を行っています。所属学生は、卒論研究と併行し、園内のあらゆる植物の栽培や収穫・加工、日々の灌水・除草作業などを通して、植物の管理全般も学びます。学生が圃場で活動する様子は、薬学専門学校時代と変わらぬ光景です（写真3、4）。

研究テーマは、栽培条件や収穫時期、加工条件が薬用植物の品質に与える影響の検討、栄養繁殖や人工授粉の条件検討などの栽培を主軸とした研究、さらに、本学生薬学分野と連携し、植物を素材とした難治性疾患治療薬の開発研究に取り組むなど、生薬の国内生産や創薬に貢献することを目指して活動しています。



現在の総合薬学研究活動風景（写真3）



京都薬学専門学校時代の薬草園（写真4）

■所蔵品

薬用植物園では、生薬標本、さく葉標本、樹脂封入標本、法規制植物レプリカ、薬用植物図譜（掛け幅）など様々な標本や資料を保存しています。今回は、薬学専門学校時代から今日まで受け継がれてきたさく葉標本についてご紹介します。

さく葉標本とは押し葉標本とも呼ばれる植物標本の1つで、植物を新聞紙等で挟んで形を整えて乾燥させたものです。植物名、採集場所、採集日、採集者、さらに生育時の状況や周囲の環境などの情報が必ず添付されます。さく葉標本は、科学的証拠として重要な役割を果たします。例えば、新たに見つかった植物に名前を付けるとき、根拠となる植物標本（普通、さく葉標本）が必須となります。対象植物の標本を作成し、その特徴を調べて、国際的な学術専門誌で発表します。このとき、命名の根拠となった標本は、「基準標本(type specimen)」として永久保存されます。イギリスのキュー王立植物園やフランスの国立自然史博物館、ハーバード大学などは歴史ある大規模なハーバリウム（植物標本庫）があることで有名ですが、日本でも国立科学博物館をはじめとする博物館や植物園、大学などが標本庫を持ちます。中には個人で収集・所蔵する場合がありますが、規模の大小に関わらず、いずれも貴重なコレクションと言えるでしょう。

本学薬用植物園及び愛学館地下の標本室には、本学教員や学生が作成した標本のほか、寄贈されたものも含めて、数万点の標本があります。一例を紹介すると、1972年2月に布藤昌一先生が実施された小笠原諸島調査のさく葉標本があります。2019年に我々の研究室で標本庫を調査した際には、177種383点が見つかり、中には、ムニンヒサカキ（サカキ科）、ムニンアオガンピ（ジンチョウゲ科）、ムニンゴシュユ（ミカン科）などの小笠原諸島固有種の標本や現在は絶滅危惧種に指定される種も確認されました。ちなみに、植物名の「ムニン」は、小笠原諸島が古くは「無人島（ムニンジマ）」と呼ばれていたことに由来するとされます。この他にも、本学標本室には、全国各所で調査・採集された植物のさく葉標本がたくさん保存されています。

博物館や大学などの機関における教育・普及活動の根っこには、標本に基づく研究があります。膨大な数の標本全てが常時使用されるものではありませんが、いつか使われるかもしれない標本も含めてコレクション全体が現役の研究用資料と言えます。さく葉標本は、植物に関わる学問の基礎であり、植物分類学や植物生態学のみならず、生薬・薬用植物の領域でも重要だと考えます。我々は、形態の基礎知識や植物の“幅”（多様性）を学び、研究材料の植物種の同定にも活用します。採集地の生態（環境）に関する情報が栽培のヒントになることもあります。研究材料として使用した植物の証拠として、標本を保存する必要があるため、所属学生はさく葉標本の作成方法も学んでいます。

植物標本は、湿度や紫外線に弱く、展示活用には限界があり、表立って見る機会こそ少ないですが、研究を支える存在として、本学にも貴重な標本類があることを知っていただければ幸いです。



さく葉標本
（ムニンネズミモチ）



薬用植物園 標本室

薬用植物園 月岡 淳子

<見学・利用方法>

原則、一般公開はしていません（団体に限り、事前申し込みで見学可）。
在学生は、学生便覧もしくは、manaba「薬用植物園利用案内」をご覧ください。

ご見学に関するお問い合わせは、下記メールアドレスまでご連絡ください。

Mail: gmp@mb.kyoto-phu.ac.jp

URL: <http://labo.kyoto-phu.ac.jp/mpgkpu/>

植物園のinstagramはこちらから
ご覧ください。



学生生活における経済的な不安を少しでも解消し、安心して勉学に励むことができるように奨学金制度があります。募集については、随時manabaでお知らせします。出願の機会を逃さないようにして下さい。

なお、家計が急変した場合には、緊急・応急での採用も随時可能ですので、学生課に相談して下さい。

■日本学生支援機構奨学金（貸与型）

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し学資として貸与されるもので、貸与が終了した後、必ず返還しなくてはなりません。家庭の経済状況等に基づき、奨学金の貸与を受ける必要性、適正な金額、返還時の負担のことなどを十分考慮のうえ申込みをして下さい。4月と9月の年2回募集を行います。奨学生に採用されると、卒業するまで貸与を受けることができます（留年中は停止）。

【奨学金の貸与月額】

奨学金の種類	貸与月額	
第一種奨学金 (無利子貸与)	自宅月額	20,000円、30,000円、 <u>40,000円</u> 、54,000円（何れかを選択）
	自宅外月額	<u>20,000円</u> 、30,000円、 <u>40,000円</u> 、 <u>50,000円</u> 、64,000円（何れかを選択）
第二種奨学金 (有利子貸与)	20,000円～120,000円の中から希望月額を選択(10,000円単位) さらに最高月額（120,000円）に月額20,000円の増額希望可能	
入学時特別増額貸与奨学金（有利子）	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の中から選択（大学1学年において入学年月を始期として奨学金（第一種・第二種）の貸与を受ける者が対象）	

- 注）1. 下線付きの月額は、2018年度入学者から新たに選択できる月額です。2017年度以前の入学者は、下線付きの月額を選択できません。
2. 自宅外通学の学生は、「自宅月額」「自宅外月額」の中から月額を選択することができます。
3. 給付型奨学金と併用する場合、区分によっては第一種奨学金の貸与月額が減額になります。

【貸与奨学金選考基準】

希望する奨学金	募集月	学力基準	家計基準※1
第一種・第二種併用貸与	4月	高校評定平均値 3.5以上	生計維持者の貸与額算定基準額が164,600円以下であること
第一種奨学金			生計維持者の貸与額算定基準額が189,400円以下であること
第二種奨学金		学習意欲があり学業を確実に修了できる見込みがある	生計維持者の貸与額算定基準額が381,500円以下であること

※1収入については、前年(1月～12月)の収入に基づく住民税情報により算出された貸与額算定基準額が上表に該当するか審査を行います。

（参考）収入・所得の上限額の目安

(単位:万円)

世帯人数	想定する世帯構成	(●)が給与所得者の世帯 (年間の収入金額)			(●)が給与所得者以外の世帯 (年間の所得金額)		
		第一種	第二種	併用貸与	第一種	第二種	併用貸与
2人	あなた、親A(ひとり親)(●)	777	1,180	722	559	905	513
3人	あなた、親A(●)、親B(無収入)	732	1,127	677	550	891	503
4人	あなた、親A(●)、親B(●※1)、高校生	880	1,309	826	613	937	566
5人	あなた、親A(●)、親B(●※1)、高校生、中学生	972	1,387	911	678	1,003	646

※1 親Bは、例として、給与所得の場合(左表)は収入300万円、給与所得以外の場合(右表)は所得200万円としています。

■ 高等教育の修学支援新制度（給付型奨学金・授業料等減免）

2020年4月より高等教育の修学支援新制度が始まりました。この新しい制度には、①日本学生支援機構による給付型奨学金の支給、②授業料等の減免の2つの支援があります。①の給付型奨学生として採用された方は、②の授業料等減免の対象者となります。また、2025年度から多子世帯への支援（授業料等の減免）が拡充します。4月と9月の年に2回募集を行います。

【支援対象になる学生】
住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯または多子世帯の学生（既に本学に在学している学生も対象）

【支援を受けられる年収の目安と支給月額及び授業料減免額】

条件等（年収目安）	区分 （1子・2子世帯）	支給額		区分 （多子世帯）	支給額	
		給付型奨学金	授業料減免		給付型奨学金	授業料減免
非課税世帯（～270万円）	第Ⅰ区分	自宅外75,800円/月	90万円/年	第Ⅰ区分（多子世帯）	自宅外75,800円/月	90万円/年
		自宅38,300円/月			自宅38,300円/月	
準非課税世帯（270万円～300万円）	第Ⅱ区分	自宅外50,600円/月	90万円/年	第Ⅱ区分（多子世帯）	自宅外50,600円/月	90万円/年
		自宅25,600円/月			自宅25,600円/月	
準非課税世帯（300万円～380万円）	第Ⅲ区分	自宅外25,300円/月	90万円/年	第Ⅲ区分（多子世帯）	自宅外25,300円/月	90万円/年
		自宅12,800円/月			自宅12,800円/月	
中間層（380万円～600万円） かつ多子世帯	－	－	－	第Ⅳ区分（多子世帯）	自宅外19,000円/月	90万円/年
					自宅9,600円/月	
中間層以上（600万円～） かつ多子世帯	－	－	－	多子世帯	－	90万円/年

- 注）1. 上表は2025年1月10日時点の文部科学省決定事項に基づき作成しています。授業料減免額は、国からの補助金額に加え、本学が独自に上乘せた金額を含んでいます。対象は、2025年度学部入学者及び在學生となります。
2. 収入基準については、JASSOホームページに掲載している「進学資金シミュレーター」（右記のQR）でより具体的に確認できます。
3. 2025年度入学者で新修学支援制度対象者については、上記授業料減免に加え、入学金400,000円の減免を受けることが可能です。（納付済み入学金を還付します）ただし、4月1日付けの認定を受けた者に限ります。
4. 授業料の減免については、2期に分けて減免します。（前期450,000円、後期450,000円）



【学業等にかかる基準】

新入生	2年次生以上
①高等学校等における評定平均値が3.5以上または、入学者選考試験の成績が入学者の上位1/2の範囲 ②高等学校卒業程度認定試験の合格者 ③将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる	①GPA（平均成績）等が学部等における上位1/2の範囲 ②修得した単位が標準単位数以上であり、将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる

- 【その他要件】
- ・日本国籍、法定特別永住者、永住者等又は永住の意思が認められる定住者であること。
 - ・高等学校等を卒業してから2年の間までに大学等に入学を認められ、進学した者であって、過去において本制度の支援措置を受けたことがないこと。
 - ・保有する資産が一定の水準を超えていないこと（2025年度から変更となります）。

【適格認定】

支給の期間は原則卒業までですが、毎年1回家計基準と学業基準を満たしているか判定を行います。（学業基準については上記基準と一部異なる。）それにより支援区分の見直しや、奨学金が廃止になる可能性があります。その他、不明な点がございましたら、日本学生支援機構ホームページ (<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>) をご確認ください。学生課窓口までご相談ください。

■京都薬科大学奨学金

本学独自の奨学金制度として、給付型・貸与型奨学金が設けられています。給付型奨学金は返還の必要がない奨学金で、貸与型奨学金は、卒業後返還となる奨学金です。公募となる奨学金は申請が必要である奨学金のため、申請を希望される方は、必ず指定の期間内において申請をして下さい。奨学金の詳細は募集時期になりましたら、manaba上の各年次コースに掲示を行います。

種別	名称	金額	採用人数	募集方法	選考基準
給付型	学部特待生給付型奨学金	90万円 (半期授業料相当額)	10名	大学選考 (合格通知とあわせて通知)	新1年次生：入試成績上位者(学校推薦型選抜を除く) 2～6年次生：特待生入学者であり、前年次の成績が各年次の上位10位以内の者 ※学部在学生給付型奨学金(学業成績優秀者)との併給不可
	学部在学生給付型奨学金 (学業成績優秀者)	5～20万円	15名/各年次	大学選考 (毎年4月に選考対象者へ通知)	2～6年次生であり、次の要件を満たす者 ・2～5年次生：前年次の成績上位者 ・6年次生：1～5年次の総合成績上位者
	学部在学生給付型奨学金 (研究・課外活動優秀者)	5～20万円	約10名	公募(前年度の毎年3月頃)	2～6年次生であり、研究・課外活動等において顕著な実績又は成果を挙げた者
	遠隔地出身学生 給付型奨学金 【2020年度入学生】	60万円 (5万円/月×12回)	8名	公募(毎年4月)	次の①～②を全て満たす者を選考対象とし、継続申請者から優先して採用する。 ①遠隔地要件 自宅が近畿2府4県以外にあり、下宿生活をしている者 ②家計要件 主たる家計支持者の1年間の総所得金額が次のとおりの者 ・給与所得者 841万円以下 ・給与所得者以外 355万円以下 (注1) 原則として、父と母の合計額で計算する。 (注2) 給与所得者は、所得証明書に記載された給与所得の収入金額とし、給与所得者以外は、所得証明書に記載された合計所得金額とする。
	遠隔地出身学生 給付型奨学金 【2021年度以降入学生】	60万円 (5万円/月×12回)	12名/各年次	新1年次生：入学前公募 2～6年次生：公募(毎年4月)	次の①～④を全て満たす者を選考対象とし、継続申請者から優先して採用する。 ①遠隔地要件 片道120分以上を要する所在地に自宅があり、下宿生活をしている者 ②家計要件 主たる家計支持者の1年間の総所得金額が次のとおりの者 ・給与所得者 841万円以下 ・給与所得者以外 355万円以下 (注1) 原則として、父と母の合計額で計算する。 (注2) 給与所得者は、所得証明書に記載された給与所得の収入金額とし、給与所得者以外は、所得証明書に記載された合計所得金額とする。 ③成績要件(2～5年次生のみ) 前年次の成績が各年次の平均点以上である者 ④入学手段要件(1年次生のみ) 学校推薦型選抜(指定校制)入学者以外の者
貸与型	学部生貸与型奨学金	90万円以内	約10名	公募(毎年10月)	次の①～②を全て満たす者を選考対象とする。 ①家計要件 日本学生支援機構第二種奨学金に申請できる収入基準額以下である者 ②成績要件 1年次生：原則として高校評定平均値が5.0満点で3.2以上の者 2～5年次生：原則として前年次までの全履修科目の平均点が70点以上の者 ※在学中、原則1回のみ貸与可能

※公募型の奨学金については、manabaで公開する申請要領等も確認すること。

■授業料減免制度について

本学では、高等教育の修学支援新制度を対象とした授業料減免制度に加え、大学独自の授業料減免制度を設けております。

種別	減免額	募集人数	募集方法	選考基準
授業料減免 (経済困窮)	90万円	20名	公募	・法令等に係る授業料等減免対象者と認定されない者 ・経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績又は研究業績が標準以上の者 ・主たる家計支持者の前年1年間(1月から12月)の総所得金額が次のとおりの者 ①給与所得者 600万円以下 ②給与所得者以外 250万円以下
授業料減免 (家計急変)				・法令等に係る授業料等減免対象者と認定されない者 ・前期又は後期の授業料の納付期限前6ヵ月以内(入学年度の授業料免除に係る場合は、後期の授業料納付期限前1年以内)において、学生の父と母又はこれに代わって家計を支えている者(主たる家計支持者)が死亡、失業、廃業、風水害等の災害その他の事由により家計が急変したことにより、授業料の納付が著しく困難となった者 ・家計基準が、独立行政法人日本学生支援機構が定める第一種奨学金における緊急採用奨学金の家計基準以下である者

■ 第7弾 研究・産学連携推進室

こんにちは。KPU_{NEWS}編集委員です。今回は、研究・産学連携推進室取材しました。研究・産学連携推進室はあまり聞きなじみがない方も多いかもしれませんが、どのような業務を行っているか紹介します。

研究・産学連携推進室は愛学館7階にあり、4人の方が働いています。主な仕事内容として、科学研究費の申請手続きや、他大学との共同研究に関する手続きを行っています。海外の大学と契約することもあるそうです。科学研究費の申請は日本学術振興会より7～9月に募集があり、2～3月に結果が出るという流れで進んでいきます。そのため、教員が作成された応募書類の確認を行い、提出する7～9月が最も忙しい時期になるそうです。また、大学で実施する全ての研究は法律や国の方針などの条件を満たす必要があるため、研究計画が法令等に適合しているかの審査を受ける際のサポートも行っています。このようにして応募した研究計画が科学研究費等に採択された時、とてもやりがいを感じるとおっしゃっていました。



編集委員による取材の様子

終わりに、研究・産学連携推進室から学生の皆さんに向けてのメッセージを紹介します。

「研究の京薬と呼ばれるこの大学で、研究を頑張してほしい、そしてそこで得られた学びを次の進路や医療に繋げてほしい」とのことです。

少しは研究・産学連携推進室について知ることが出来たでしょうか。私たちがほとんど関わる機会がない部署は他にもあるので、また取材したいです。ではまた次回。

●バックナンバー

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 第1弾 企画・広報課／No.212（2023年1月号） | 第2弾 進路支援課／No.213（2023年4月号） |
| 第3弾 情報管理推進室／No.214（2023年7月号） | 第4弾 教務課・学生課／No.216（2024年1月号） |
| 第5弾 入試課／No.218（2024年7月号） | 第6弾 実務・生涯教育課／No.219（2024年10月号） |

掲載されているKPU_{NEWS}は本学公式Webサイト（<https://www.kyoto-phu.ac.jp/other/publicity/>）よりご覧ください。



2025年度大学院薬学研究科

薬学専攻博士課程（冬季募集）の入学選考結果

Report.

入試課

2025年度大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（冬季募集）の入学選考を1月24日（金）に実施し、1月27日（月）に合格発表を行いました。入学選考の結果は表のとおりです。

■ 2025年度大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（冬季募集）の合格者数等

	博士課程	2025年度入試合計（夏季募集含む）
志願者数	2名	10名
受験者数	2名	10名
合格者数	2名	10名

毎年、京都橘大学と合同で実施している多職種連携教育（Interprofessional Education; IPE）研修会を2024年11月8日（金）に開催しました。2016年度から開催して今年度で9回目を迎えます。いつもはバラバラに専門分野を学んでいる薬学、看護学、理学療法学、作業療法学の4領域の学生が一堂に会して多職種連携について理解を深める研修会です。

IPEの目的は「①医療チームの一員として自分の専門職の役割を理解する」、「②他の専門職の視点、考え方、役割を学ぶ」ことであり、異なった医療人教育を受けている薬学・看護学・理学療法学・作業療法学の学生たちが共に話し合い（SGD）を通じて多職種連携の在り方や考え方などを知り、各職種にはどのような強みや弱みがあって、各職種が協働してどのような形でチーム医療に貢献できるのかを理解することが大きな目的です。



学科ごとのプロダクト発表（Ⅰ部）

本年度の研修会に参加した学生は47名（京都薬科大学：5年次生10名、京都橘大学看護学部：4年次生12名、京都橘大学健康科学部理学療法学科：4年次生13名、京都橘大学健康科学部作業療法学科：4年次生12名）でした。

症例シナリオは「畑で脳梗塞を発症して右の手足がマヒし、軽度の認知症を患いながら妻と暮らす70歳代後半の男性患者の在宅ケア」です。Ⅰ部ではまず同じ学科の学生同士でSGDを行い、このシナリオについて「各専門職として何ができるのか？」についてのアウトカム（プロダクト）を作成し、それを発表してもらいました。その後、Ⅱ部では各学科の学生が混ざった学科混成グループにして「各専門職としてだけではなく、在宅でのチーム医療を実施するための共通目標を

立てること」をアウトカムにしてSGDを行い、プロダクトを作成し、発表してもらいました。

実際に研修会を行ってみると、Ⅰ部では同じ教育を受けているため議論がスムーズに進みましたが、Ⅱ部では各専門の医療人教育を受けてきているため、それぞれの立場からの考え方の違いが明確になり、それぞれの意見をうまく統合させた共通のアウトカムを導き出すのに苦労している様子でした。しかし、研修終了後の薬学生からは「同じシナリオであるにも関わらず、着眼点が異なり、普段では思いつかない視点があることに気づかされた」や「他分野の専門用語を理解しながらの議論は難しかったが、患者の生きがいをくみ取る重要性について共有できた」という意見が上がっていました。



学科混成グループでのSGD（Ⅱ部）

アンケート調査で「本IPE研修を後輩に進めますか？」という質問に対して、学生47名全員が「はい」と回答しており、卒業後もこのようなIPE研修会があれば参加したいと答えていました。

日本は世界に類を見ない少子高齢化を迎えています。社会保障費も膨れ上がってきており、これからの地域医療は“病院完結型医療”から“地域連携型医療”にシフトしないとはいけません。これに対応するためには、治療（cure）だけでは不十分であり、発症後の介護・福祉も含めたケア（care）も重要になります。そのため、自らの専門的能力だけではなく、他職種の役割を理解した上で、多様な専門職と協働し、患者や利用者のニーズに応えていく実践的な能力を身に付け、医療現場で働き始めた時から円滑なチーム医療を実践できるように学生時代から多職種連携についてしっかりと理解しておくことが重要であり、非常に大切な研修会であると考えています。



研修会参加者の皆さん

◆2025年度卒後教育講座

～現場のニーズと社会情勢に応じた 全ての薬剤師に必要な知識を学ぼう～

- * 日程：＜対面2日＞ 2025年6月15日（日）、7月13日（日） 10:00～16:00
＜オンデマンド配信＞ 2025年6月1日（日）～2026年2月28日（土）
- * 場所：京都薬科大学愛学館3階A31講義室 & オンデマンド配信
- * 定員： 200名 * 参加費：12,500円（受講料12,000円、事務手数料500円）
- * 申込受付期間：～2025年6月2日（月） * 認定単位：G24計10単位（1単位／演題）
- * 配信期間：2025年6月1日（日）～ 2026年2月28日（土）



●対面6講義 ※オンデマンド配信も有り		
2025年 6/15 （日）	10:00 ～11:30	生成AI活用術～医師による薬剤師のためのChatGPT入門を中心に～ 近畿大学医学部 皮膚科学教室 主任教授 大塚 篤司 先生
	12:30 ～14:00	授乳婦への投薬：どの情報を使い、どこまで伝えますか 日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 薬剤部長 笠原 英城 先生
	14:15 ～15:45	RMPを基礎から学ぶ～様々な医薬品情報をどう扱っていくか～ 杏林大学医学部付属病院 薬剤部 薬剤科長 若林 進 先生
2025年 7/13 （日）	10:00 ～11:30	セルフメディケーションの現状と課題、薬剤師への提言 名古屋市立大学 特任教授 鈴木 匡 先生
	12:30 ～14:00	在宅医療の本質と正しい薬剤師の関わり方 カリン薬局 代表取締役 小林 篤史 先生
	14:15 ～15:45	地域で取り組む医療安全～患者安全のために取り組むべき課題～ 京都第二赤十字病院 薬剤部 薬剤部長 友金 幹視 先生
●オンデマンドのみ（eラーニング）4講義		
2025年 6/1 （日） ～	①	患者さんに伝えたい”腎臓を守ることは、命を守ること” 京都岡本記念病院 腎臓内科 部長 劉 和幸 先生
	②	ポリファーマシーを解消する病診薬連携 宝塚市立病院 薬剤部 薬剤部長 吉岡 睦展 先生
2026年 2/28 （土） 配信	③	災害時医療と感染対策～地域を守る薬剤師に求められること～ 東京大学医学部附属病院 薬剤部／日本DMAT隊員 高山 和郎 先生
	④	漢方薬の服薬指導とアフターフォローのポイント～在宅と家庭薬膳教室の実践から～ フローラ薬局 代表取締役 篠原 久仁子 先生

◆2025年度eラーニング講座

本年度の卒後教育講座10講義と京都漢方研究会の12講義をオンデマンド配信します。
2024年度卒後教育講座と漢方講座も再配信します。ニーズに合ったコースを選んでお申し込みください。
（新規22コンテンツ予定）

- * 参加費：①全視聴コース（44コンテンツ） 30,500円（受講料30,000円、事務手数料500円）
②当年度コース（22コンテンツ） 22,500円（受講料22,000円、事務手数料500円）
③卒後コース（20コンテンツ） 20,500円（受講料20,000円、事務手数料500円）
④漢方コース（24コンテンツ） 24,500円（受講料24,000円、事務手数料500円）
- * 申込受付期間：～2026年2月24日（火） * 認定単位：G24 1単位／コンテンツ

■ 申込方法 生涯教育センター公式Webサイトよりお申し込みください。 <https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

■問合せ先

京都薬科大学 事務局 実務・生涯教育課
*E-mail：s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp
*TEL：075-595-4677
*FAX：075-595-4792



生涯教育センター
問い合わせフォーム



卒後教育講座
申し込みページ



eラーニング講座
申し込みページ

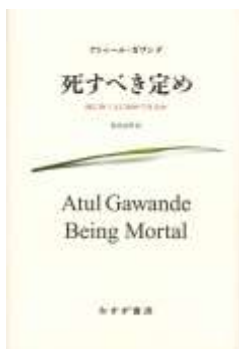
■ 本学の学生・職員は、講座の無料受講が可能です。

受講希望者は、実務・生涯教育課までメールにてご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております。

いわもと なおや
薬品化学分野 助教 岩本 直也

『死すべき定め一死にゆく人に何ができるか』
アトゥール・ガワンデ著 原井宏明訳
みすず書房 (2016年)

少し重々しいタイトルですが、この本は終末期の医療をテーマに、長く生きることが可能になった現代で「豊かに死ぬ」ことに焦点を当てたノンフィクションです。アメリカで外科医として働く著者は、老年科病棟の見学をきっかけに、終末期の医療の在り方について考えるようになります。著者は、最期を迎えようとしている患者やその家族へのインタビューを通じて、一生を終える当事者が望むものは何なのかについて真摯に考え抜きます。そんな中、著者の父もまた病に侵され、最期の時が近づきます。一人の医師として、一人の家族として、著者自身は父の



最期にどう向き合っていくのか…といった内容になっています。

この本の中では、「弱り果て、衰え果て、自分でやっていくことがやっていくことができなくなったときに、どうすれば生きる意義が見出せるのか (p.69)」という厳しい問いが提示されます。また、「今を犠牲にして未来の時間を稼ぐのではなく、今日を最善にすることを目指して生きる (p.228)」とも述べられています。医療に限らず、現代社会は私たちの人生に様々な可能性を提示し、私たちもまたその可能性を手にしたいたいと思いが常になっていると思います。一方で、あらゆる可能性が本質的に閉ざされたとき、何を求めたらいいいのか考える機会ほとんど設けられていないように感じます。この本は、家族や医療者との対話を通じて、そういった問いに対して答えを出していくことが大切だと述べています。数年前にこの本を手にとって以来、年齢を重ねていく両親を見ながら、私自身もそういった対話に向き合わなければならない時が近づいているのかなと思っています。

残念ながらこの本には薬剤師は登場しませんが、薬剤師も人の最期について向き合う機会は少なからずあると思います。将来医療に関わりたいと考えている方はもちろん、それ以外の方もご自身のライフステージに応じた気づきの得られる良書かと思えますので、是非一度手に取ってみてください。

くぼ つぐみ
企画・広報課 久保 亜未

『余命3000文字』
村崎 羯諦 著
小学館文庫 (2020年)

私は普段、あまり読書をすることがありません。そのため文章量が多かったり、シリーズ化されていたり、複雑な構成の本は敬遠しがちです。しかし、この本はいくつもの短編小説で構成され、どの話も10分も満たない短時間で読み終えることができる内容となっており、読書をしない私でも次々に進む展開に楽しみながら読むことができました。

最初の小説はタイトルにもなっている「余命3000文字」です。医者に余命3000文字だと宣告された男性の生き方が描かれています。一般的には余命は「年月」ですが、この物語の中では「文字」で表現



されています。初めは余命が文字であることに對して不思議に思う男性ですが、考えるだけでも文字数を消費してしまうため、考えることを諦め、よく分からない状況をすぐに受け入れます。そして平凡で何も考えない、話すことも少ない生活を送ることで余命への対策をします。しかし、ある出来事が起こり、残りの文字数が急激に少なくなっていき、最期を迎えてしまいます。この話自体も実際に3000文字で書かれて、文字数が少ない分、書かれていない場面を読み手が想像できるため、そこも面白さのひとつかなと思います。

他の話も、幼馴染であることを役所で証明してもらう話の「幼馴染証明書」や心を洗って気持ちや考え方を変えることができるお店で起こった事件が書かれた「心の洗濯屋さん」など現実からちょっと離れたファンタジーのような作品ばかりで、私は実際に現実世界で起こったら…と考えながら読んでいました。

くすつと笑えるものから、ハッと気づかされるものなどいろいろな種類の話が詰まった小説です。すぐに読み切ることができるので、通学・通勤やお昼休憩などのちょっとしたスキマ時間にピッタリの本です。ご興味のある方はぜひ読んでみてください。

2025年2月10日（月）、創立130周年記念館において、白衣授与式を挙行政たしました。

学生に授与した白衣は、教育後援会と京薬会からのご支援によるものです。

白衣授与式は、翌年の新5年次生を対象に病院・薬局での実習前に、将来薬剤師（医療従事者）となる者の責任と京都薬科大学の学生であることの自覚を再度認識させるため、毎年度この時期に開催しているものです。

式典では、学生の前表者が学長から白衣を授与された

後、全員が大学名の入った白衣を着用しました。その後、赤路学長から式辞、栄田臨床薬学教育研究センター長からの「実務実習に向けた心構え」の説明後、教育後援会の清水会長様と京薬会の平松会長様からそれぞれ激励の挨拶をいただきました。

最後に学生の前表から「愛学躬行の精神を胸に抱き、実務実習に全力で臨む」との誓いの言葉が述べられ、閉式となりました。



白衣を受け取る学生前表者



真新しい白衣に袖を通し、心構え新たに

News 京薬会だより

1 白衣授与式

2月10日（月）、白衣授与式が挙行政されました。京薬会平松会長より激励のメッセージとともに、実務実習に向かう4年次生全員に大学ロゴ入りの白衣が贈呈されました。

2 新たな情報誌（京薬会ニューズレター）を創刊しました

同窓会（京薬会）はこの3月にNL（ニューズレター）を創刊しました。従来の機関誌である「京薬会誌（冊子）」の発行は年1回に集約し、新しいニューズレターは新鮮な情報をスマホやタブレットでサクッと気軽に読めるタイプにしています。また卒業生以外の方にもアクセスしていただき情報提供のツールとすることも検討しています。NL創刊号は、右のQRからご覧いただけます。



『挑戦』は未来の扉を開く鍵となる

しま ちあき
島 千晶



2022年 学部卒業
統合薬科学系(現：シナジーラボ)

京都大学医学部附属病院
薬剤師

学生生活をどう過ごしていますか。薬学生だから、テストも授業もたくさんあって、勉強が大変だなあと。大学時代を振り返って、勉強はもちろん大変でしたが、私はたくさんのことに挑戦し、仲間ができたことが良かったと思っています。ポストンへの短期留学、バスケットボール部のマネージャー、アルバイト、ボランティア活動、KPU^{NEWS}の編集委員を務めたり、新設された研究室での活動など。おかげで大変だった国家試験や就職後に役に立ちました。

私は、卒業後、患者に寄り添える病院薬剤師になりたいと思い、基本的なスキルを身に付けるため、大学病院にレジデントとして就職しました。その2年間で、調剤や病棟業務などを行いました。病棟では、様々な疾患・背景を持つ患者や家族はもちろん、医師や看護師ともコミュニケーションを取らな

ければなりません。外国語を話す患者さんも入院してくることがあります。学生時代の短期留学、部活動、アルバイトやボランティアでの経験を通し、色々な立場やタイミングを考えてコミュニケーションを取ることを学んだことが役に立ちました。また、学会発表も行いました。スライドや要旨の作成などは、大変だった新設研究室での活動経験が役に立ったと思っています。

現在、レジデントを修了した私は、新生児集中治療室(以下、NICU)の病棟担当薬剤師として働き、レジデントへの教育も行っています。私にとっては新しい挑戦であり、初めはとても不安でした。NICUでは超低出生体重児、遺伝的疾患や循環器疾患のある児について、注射薬の調製や薬学的なアプローチをしています。お薬の用量や配合変化の確認はもちろんですが、その疾患に適応のない薬剤について、文献等を探し、お薬の用量や投与方法などを医師とディスカッションすることもあります。また、その児の家族への説明もあります。レジデント教育では、スケジュールや到達度の確認、勉強会を行っています。上手くいかないこともありますが、そんな時は同期や先輩、大学の仲間と話し、解決方法を考えます。新しいことに挑戦するのは大変なことです。が、学生時代に新しい経験をしたことや仲間がいるおかげで難なく乗り越えられていると思います。

薬剤師になることは人の命を預かるということであり、勉強をするのはものすごく大変でした。しかし、勉強だけでなく、学生生活でしかできないこともあるので、たくさんのことに自ら挑戦し、出会った仲間を大切にしてください。

Library News

図書館

日経BP記事検索サービスアカデミック版がリニューアルしました！

日経BP社が提供する“日経BP記事検索サービス”は、2025年4月に専門情報をより早く、ワンストップに収集可能なデータベースサービスとして、大幅に刷新しました。雑誌媒体に関しては、従来利用率の高い「日経ドラッグインフォメーション」「日経NETWORK」をはじめとした既刊誌26タイトルにくわえ、新たに「日経ビジネス電子版」「日経クロステック」「日経クロストrend」「日経xwoman」「日経 Gooday」「日経ESG」「Human Capital Online」のWEBメディア7媒体の提供が開始、就活生に高い人気を誇る「日経業界地図」もPDFデータにて実装されました。また、検索機能もよりシンプルに媒体別、期間別検索に集約されています。

国内外のテクノロジー動向をはじめ、企業のケーススタディ、企業や官公庁、地方自治体の発表するリリースなど、レポート・論文作成や就職活動に役立つ高度な最新情報をオンライン上で検索、閲覧できるサービスですので、この機会に是非ご利用ください。

※リニューアルに伴い、URLも変更されていますので、

図書館ホームページ> “データベースで探す”からアクセスしてください。

◇本学図書館の開館日程についてはホームページをご覧ください。

<https://www.kyoto-phu.ac.jp/library/>



KPU NEWSでは、学生・職員の趣味や活動などを新コーナー「十人十色」と題して幅広く紹介しています。
学生・職員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

襷を追いかけて

こが たかひろ
薬化学分野 6年次生 古賀 貴裕

昨年11月に「富士山マラソン2024」にフルマラソンの部で出場し、2024年では4度目の完走を達成することができました。年に複数回出場する私に、友人たちは呆れつつも頑張って笑顔で背中を押してくれます。今回は私がマラソンを続けるようになったきっかけを紹介させていただければと思います。



走る筆者

マラソンとは、制限時間以内に自分の足で42.195 km移動する種目です。ただそれだけです。非常にシンプル。しかし、この「42.195 km」は時に人生に喩えられるほど非常に奥深く、また魅惑的なものであり、私も魅せられた内の1人です。

高校から陸上競技を始めた私は、短距離種目に取り組んでいました。その時からテレビでマラソンを走る選手の姿を見て、42 kmなんて自分には長すぎると思いつつ、人生で1度は完走したいと臆げに考えていました。まさか毎年走るようになるとは、この時は全く思っていませんでした。

大学生になり、初当選して出場した福岡マラソンの31 km地点。経験・準備不足、自分への過信等、前半の明らかなオーバーペースが祟り、既に脚を引きずり歩くのも辛いような状態でした。そして眼前には厳しい上り坂。制限時間が迫る中、残り10 km以上ある現実に心が折れ、リタイアしようとしていた私の横を、

文字が書かれた襷をつけるランナーが力強く抜いて行きました。ふと内容が気になり、痛みを堪えつつ走って追いつくと、具体的な数字は忘れましたが、襷には「今年70歳（70代のランナー）。若者よ、まだ走れるだろう。」との文字が。無理をして追いついた私はそのランナーについていけるほどの体力は残っておらず、その襷は遠ざかっていきました。その後は、このランナーの粋なエールを思い出しながら諦めず進み続け、結果なんとか制限時間30分前にゴールできました。あの襷が無ければゴールできなかったと今でも思います。

「マラソンは人生に似ている」と言われる所以を、この42kmを通じて知りました。走る前はゴールしたら終わりとしか思っていなかったですが、マラソンから得られるこの所以・奥深さを他の人にも経験してほしいと強く思い、そのためには、私は走り続けなければならない

とその後も出場を重ねました。その結果が徐々に走る友人も増え、富士山マラソンでは5人で完走しました。あのランナーに出逢ったからこそ今があると思います。

今の私の目標は2つあります。1つ目は2時間35分00秒以上の記録を持つランナーに出場権が与えられる福岡国際マラソンに出場すること、2つ目は47都道府県のフルマラソン、及びアボット・ワールドマラソンメジャーズと呼ばれる世界六大マラソンを全て完走することです。どちらも達成できるか分からない高い目標ですが、あの襷を思い出しながら走り続けようと思います。

「若者よ、まだ走れるだろう。」



5人全員の完走メダルで
完成する富士山

※執筆当時の学年で掲載しています

■ 新年度が始まりました

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
在学生のみなさんは、新しい年度を迎え、どのような
お気持ちでしょうか。

年度が変わると、さまざまな変化があることでしょ
う。特に、新入生のみなさんにとっては、これまでと
は大きく異なる学校生活が待っています。今は、新し
い生活に向け、不安と期待と入り混じったような気持
ち、そして、少しふわふわしたような感覚があるかも
しれませんね。これから経験していく、うれしいこと
も、つらいことも、一つ一つの経験が、みなさんの人
生を彩ってくれるものだと思います。

授業に関しては、より専門的な学びに進んでいくた
め、予習や復習等、毎日の学習量がさらに求められて
いくと感じる人は少なくありません。

また、課外活動やアルバイト等を始めると、学内外
の多様な人とのコミュニケーションがどんどん広が
り、たくさんの刺激を受けたり、世界が広がったり
と、これまでにない自由を手に入れたような、また、
すっかり大人になったような気がする瞬間が出てくる
かもしれません。

実際、成人年齢が引き下げられ、18歳になれば、
親の同意なく、クレジットカードを作ったり、自分
の意思で様々な契約ができたりするようになりました。
ただ、契約できるということは、自由を手に入れ
られるとともに、リスクと責任が伴います。トラ
ブルに巻き込まれないためにも、何か迷ったり、
困ったりしたときには、かならず、周囲の大人に相
談してください。これから先を考えると、一人でな
んでもできる力も大切なのですが、自分だけではで
きないことを理解して、サポートしてもらえる場所
や人を見つけて繋がれるという力がより求められて
いきます。

本学には、学生相談室という場所があります。場
所は育心館の4階です。親にも友達にも相談しづらい
時や、自分の抱えている困り事をどこに話してい
いのかわからない時には、ぜひ利用してみてください。

manabaの各学年コース→学生生活→学生相談室の
ページに学生相談室の詳細を掲載しています。2名の
カウンセラーが常駐しています。ご利用をお待ちし
ております。

(臨床心理士 上野みな子)

■ 学生相談室のご案内

学生生活の中で問題や悩みに出くわしたとき、独りで抱え込むのではなく気軽に相談室をご利用ください。
相談は臨床心理士・公認心理師の資格を持つカウンセラーが担当し、学業、進路、課外活動、将来、対人関
係、性格、家族、心身の健康についてなど、事の大小に関わらず学生生活に関わる様々な悩みや問題について
幅広い相談をお受けしています。学生ご本人だけでなく、保証人や教職員の方からの相談も可能です。

● 相談申込み・問合せ先

学生相談室 育心館4階

相談を希望される方は下記申し込みフォームまたはメールにて予約をお願いいたします。相談は無料です。な
お、対面相談のほかに、オンライン相談（電話またはTeamsの音声通話）も実施しております。相談方法につ
きましてはカウンセラーにご相談下さい。その他詳細はお問合せ下さい。

- ・ 開室（受付）時間：月～金 8:45～17:15
- ・ 学生相談室メール：gakusou@mb.kyoto-phu.ac.jp
- ・ 電話：（075）595-4672（建部） / （075）595-4686（上野）

申込フォーム：<https://www.kyoto-phu.ac.jp/contact/support.html>



NEWS クラブ・サークル紹介

本学で活動しているクラブ・サークルの一部を紹介します。

硬式テニス部

月・水・土の週3日で活動しています。経験者はもちろん、初心者も大歓迎です！



女子バスケットボール部

プレイヤー12人、マネージャー5人で主に週2回活動しています。経験問わず大歓迎です！新歓お待ちしております！



陸上競技部

月・水・金の週3回の活動や学内駅伝大会の運営を通じて経験を問わず、仲良く楽しく活動しています！



空手道部

私たちは、黒帯取得に向け日々稽古に励んでいます。部員もとても仲が良く雰囲気も良い部活ですので是非一度体験に来てください！



剣道部

活動時間は月・金17:00～18:30、試合や昇段を目標に楽しく稽古しています！経験者も初心者も大歓迎！！OB・OGさんを含め優しい先輩が沢山いらっしやるので、勉強や将来のことなど色々なお話ができます！ぜひ一緒に剣道しましょう～～～[^]_^



ソフトテニス部

部活では真剣に大会に向けて取り組み、また忘年会などを開催して親睦を深めています。是非体験お待ちしております。



ギターマンドリン部

毎週火・金に活動しています！入学式や文化祭での演奏、他大学との合同演奏会に向けて練習に励んでいます！たくさんの入部お待ちしております！



京炎そでふれ！ 京躍華

新入生みなさん！ご入学おめでとうございます！私たちは京都や大阪で開催されるお祭りに参加するよさこい系ダンスチームで、2年次生15人、3年次生22人で活動しています！

私たちと一緒に最高に楽しい大学生活を送りませんか？新歓でお待ちしております☺



管弦楽部

私たち管弦楽部は、毎年11月末に行われる定期演奏会に向けて日々より良い演奏になるように練習を頑張っています。経験の有無に関係なく楽しめるところがこの部活の強みです。



漢方医学研究部

薬膳料理会やオリジナルハーブティーの制作など、週1〜2回楽しく活動しています！



茶道部

毎週火曜日に先生をお招きしてお稽古をします。部室にいる時間はほのぼのしていて、忙しい日々の良い息抜きになってます。

Friwilly(ボランティアサークル)

児童館での実験会やその準備をメインに活動しています！一緒に楽しい実験を考えてみませんか？新歓お待ちしております！



植物研究部

この部活では、紅葉狩りや果物シロップ作製など、植物に関する幅広い活動を行っています！部員一同入部をお待ちしています！！



らくしあ

ボードゲームやTRPGなどのアナログゲームを主な活動としています！先輩後輩入り交じり、和気あいあいと活動しています！

興味があれば、一緒に活動しませんか？



京薬祭実行委員会

京薬祭の企画・運営を行っています。仲間と共に学園祭を成功させた時の喜びは格別！一緒に最高の学園祭を作り上げましょう！



■シナジーラボの原田考輝さんが第146回日本薬理学会近畿部会において優秀発表賞を受賞しました

2024年11月30日（土）に開催された 第146回日本薬理学会近畿部会においてシナジーラボの原田考輝さんが、優秀発表賞を受賞しました。

受賞：シナジーラボ 博士課程3年次生 原田 考輝

演題：ヒト人工多能性幹細胞由来大脳皮質オルガノイドを用いた脳発達ならびにアルツハイマー病脳病態における原始マクロファージ／ミクログリアの機能解析

演者：原田 考輝¹、山田 志歩¹、西村 周泰²、高田 和幸¹
 （¹京都薬科大・シナジーラボ、²同志社大・院脳科学・脳回路機能創出部門）



■病態生理学分野の藤堂暢久さんが報告した学術論文がBiol.Pharm.Bull.誌のHighlighted paper selected by Editor-in-chief、Featured Article、ならびに表紙カバーとして選出されました

病態生理学分野の藤堂暢久さんが報告した学術論文がBiol. Pharm. Bull. 誌のHighlighted paper selected by Editor-in-chief、Featured Article、ならびに表紙カバーとして選出されました。

タイトル：Cynaropicrin Increases $[Ca^{2+}]_i$ and Ciliary Beat Frequency in Human Airway Epithelial Cells by Inhibiting SERCA

著者名：Nobuhisa Todo, Shigekuni Hosogi, Seikou Nakamura, Kouta Noriyama, Nobuyo Tamiya, Yuki Toda, Masaki Shigeta, Koichi Takayama, Eishi Ashihara

掲載巻号：Biol. Pharm. Bull. Volume 47 Issue 12 Pages 2119-2126. 2024

Webサイト：https://www.jstage.jst.go.jp/article/bpb/47/12/47_b24-00567/_article



■臨床薬学教育研究センターが報告した学術論文がYAKUGAKU ZASSHIのFeatured Articleに選出されました

臨床薬学教育研究センターが報告した学術論文がYAKUGAKU ZASSHIのFeatured Articleに選出されました。

タイトル：薬物乱用のおそれがある日本のOTC医薬品の特徴に関する調査

著者名：今西孝至、上村莉子

掲載巻号：YAKUGAKU ZASSHI, 145(2), 155-161 (2025)

Webサイト：https://www.jstage.jst.go.jp/article/yakushi/145/2/145_24-00158/_article/-char/ja

■公開講座について京都新聞に掲載されました

本学で開催された公開講座（共催：次世代のがんプロフェッショナル養成プラン）でのアピアランスケアに関する講演について、京都新聞（2025年1月14日）に掲載されました。



■新聞記事の一覧についてはこちら

<https://www.kyoto-phu.ac.jp/compendium/paragraph>

下記の方々からご寄附をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

* 敬称略、芳名のみ掲載しております。

* 100万円以上を頂いた方は、愛学館エントランス『京都薬科大学 高額寄附者顕彰銘板』にも掲載させていただきます。

2024年12月～2025年2月にご寄附をお寄せいただいた方々

< 卒業生・同期会等 (五十音順) >

蘆田 康子	河尻 毅	鈴木 耀正	松尾孝三郎	医療法人社団 随縁会
東 富雄	木口 卓也	世良 民代	松村 高明	ことしろクリニック
安住 京子	楠山 敬	竹田 秀一	眞鍋 美和	理事長 印部亮助
池崎 宗克	國貞 眞司	武田 禮二	南 貴大	
池田 博充	兒玉 子	田島久仁子	宮川 喬行	株式会社KMメディカル
石田 誠	小林富治郎	田淵千代子	村上 愛	代表取締役 河村知典
井堀 政芳	小林 豊光	張 賢二	村川 公央	
植田 文枝	小林 亮介	堤 一彦	村山猪一郎	
梅谷 恭司	小松 正典	中川 由美子	森 真友子	
越後 幸代	佐伯 素子	中西 あき子	森川 貴之	
近江 和子	阪井 博司	永瀨 淳子	山口 博行	
大崎 安子	坂井 良次	中村 泰三	吉田 亮	
大嶋 美奈子	酒井 誠	夏見 生子	吉田 壽子	
大野 高溥	塩飽 義明	西村 利明	若山 尚彦	
大脇 弘之	下中 睦子	根矢 三郎	渡辺由佳子	
奥林 活人	末次 王卓	保崎真理子	渡辺 温	
川口 たか子	杉崎 隆治	前川由美子	渡邊 萬里	

< 卒業30周年記念募金 (平成7年卒業生) >

森川 敏生

< 卒業50周年記念募金 (昭和50年卒業生) >

昭和50年卒同窓生一同

< 保証人 (五十音順) >

青木 隆宜 新谷 直哉 谷本 修一

< 企業・団体・一般 (五十音順) >

一柳 純子 深田 守 松田 晶子

< 法人役員・評議員・職員等 (五十音順) >

赤路 健一 (学長)	高野 江里 (課長)	中谷 庄吾 (課長)	濱崎 博 (名誉教授)
串田 ゆか (評議員)	武上 茂彦 (教授)	西口 工司 (副学長)	

(2025年2月28日現在)

■ ご寄付のお願い

本学では皆様からのご寄付で様々な支援を行っています。

引き続き温かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

詳細は本学公式Webサイトよりご覧ください。 <https://www.kyoto-phu.ac.jp/compendium/contribution/>



KPUnews No.221

2025年4月発行／編集：KPUnews編集委員会

発行：京都薬科大学 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5 ☎075-595-4691(企画・広報課)

※本誌掲載の文章及び写真の無断転載を禁じます。